# むすびプロジェクト

「むすびプロジェクト」は当グループのリハビリ病院を退院された患者様が、
その人らしく生きいきと生活していただけるよう、支援するための取り組みです。
今回はその取り組みのひとつをご紹介いたします。

## 福祉と医療の連携について ～列島会・あきの会施設見学の実施～

令和7年6月28日、令和健康科学大学において「福祉と医療の連携を考える会」が開催されました。本会は、列島会・ゆとり・あきの会の3法人が主催し、医療や福祉の現場で実際に行われている支援の取り組みが発表されました。発表では、利用者一人ひとりの個性を尊重した多様な支援のあり方が数多く紹介されました。

今回の会に先立ち、私達は列島会およびあきの会の各施設を見学する機会をいただきました。列島会では、全国でも受注売上が高く、規模の大きな就労支援事業所を展開しており、とりわけ障がいの特性を活かした芸術活動が印象的でした。現在は4名のアーティストの方々が、それぞれの感性を活かして創作に取り組んでいました。あきの会では、「障害児医療生活支援ホーム 虹の家」を運営しており、特に「在宅療養児一時受け入れ支援事業」に力を注いでいます。併設の「なないろ診療所」では、施設利用中に受診や薬の処方も可能で、ご家族のニーズに寄り添った支援が行われている点が大変印象的でした。見学を通じて、患者さんが病院を退院された後の「生活期」にこそ、継続的であたたかな支援が必要であることをあらためて認識する機会となりました。

今回学んだことを今後の活動に生かすために、むすびプロジェクトでは「地域を支え、人に寄り添い、人生を応援する」という理念を大切にしながら、これからも活動を続けてまいります。

## ホームページのご案内

病院の詳しい内容は、ホームページでご覧いただけます。
ぜひご参照くださいませ。
グループ病院ホームページにもリンクできます。

原宿リハビリテーション病院 検索

https://harajuku-reha.com/

## SNSのご案内

看護部
Instagram
@HARAREHA_KANGOBU_RECRUIT

リハビリテーション科
Instagram
HARAJUKU_REHA

TikTok
@harajuku_rehabilitation


原宿リハビリテーション病院　広報誌

原宿タイムズ Vol.32

HARAJUKU TIMES

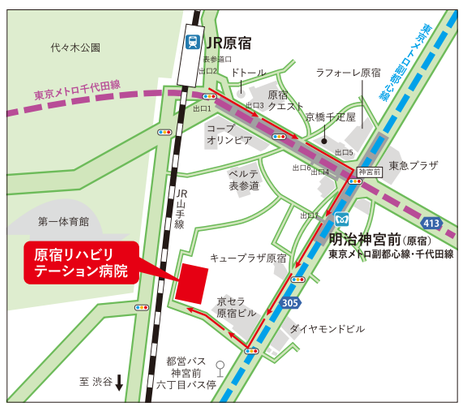
令和7年12月発行



原宿リハビリテーション病院

日本医療機能評価機構認定病院

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-26-1
TEL 03-3486-8333／FAX 03-3486-8334


■原宿駅　表参道口(JR山手線)より徒歩8分
■明治神宮前(原宿)駅　7番出口(東京メトロ副都心線・千代田線)より徒歩5分


企画・発行所：原宿リハビリテーション病院　広報委員会



原宿リハビリテーション病院　広報誌

# 原宿タイムズ Vol.32

HARAJUKU TIMES

原宿リハビリテーション病院の屋上からの眺め

コンテンツ


P1　：看護部よりごあいさつ/デイルームの風景紹介/総合大運動会
P2　：医療連携会/優秀演題賞を受賞
P3　：手持ち花火大会/お神輿
P4　：原虎連携会/行事食
P5-6：院内旅行


## 看護部よりごあいさつ

看護部長　長能（ながの） みゆき

令和7年10月1日より原宿リハビリテーション病院の看護部長を拝命いたしました長能みゆきと申します。
当院は、今年4月に開院10年を迎え、新しい10年に向けて歩み始めています。節目となる年に着任できたことは、心引き締まる思いです。
看護部理念である「確かな知識と技術、豊かな感性」をもとに、看護職員の育成・看護部のイノベーションを推進し、患者さま一人ひとりが、その人らしく退院後の生活を送れるようにチーム医療の中心として活躍できる看護部を目指したいと思います。
患者さま・ご家族さま・地域の皆さまなど多くの方々に信頼され、選ばれる病院を目指して尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

## デイルームの風景紹介

デイルームは、患者さまが自由にお過ごしいただける場所となっております。
5階病棟では、午前と午後にそれぞれ体操の時間を設けており、身体を動かすことで気分転換ができます。
病室を離れて、少しでも心も身体もリフレッシュしていただけたらと思います。
体操の時間には、皆さま笑顔で楽しそうに参加されています。

ケアワーカー　水島・クラーク　平川

## 第8回 カマチグループ 医療連携会

令和7年9月18日（木）、帝国ホテルにて「第8回カマチグループ医療連携会」を開催いたしました。
本年も当グループ7病院（原宿・五反田・蒲田・赤羽・小金井・江東・明生）が合同で企画・運営を行い、ご参加の皆さまに有意義な時間をお過ごしいただけるよう準備を進めてまいりました。
当日は、急性期病院をはじめ、療養病院や介護老人保健施設など、地域の幅広い医療・介護機関から約750名の方々にご参加いただき、活発な交流が行われました。
「顔の見える連携」の重要性を改めて共有するとともに、日々の取り組みを振り返り、今後に活かせる学びを得られる場となりました。
今後も関係機関の皆さまと緊密に連携し、より円滑で安心できる入退院支援の実現に努めてまいります。

入退院支援センター　看護師　黒川

## 神宮前地区町会 総合大運動会

令和7年10月19日（日）に神宮前地区町会の総合大運動会が開催され、当院からも14名のスタッフが参加いたしました。
当日はあいにくの曇り空でしたが、一つひとつの競技にも気合いが入り、笑顔と声援があふれる白熱した運動会となりました。
結果は惜しくも3位でしたが、職場周辺の地域の方々と楽しく交流することができ、大変貴重な経験となりました。来年は優勝を目指して、さらに団結して参加したいと思います。

作業療法士　青木

## 第59回日本作業療法学会で優秀演題賞を受賞しました

香川県高松市で開催された「第59回日本作業療法学会」において、応募約1,500演題の中から4演題のみ選出される優秀演題賞を受賞し、スペシャルセッションで口述発表を行いました。
発表演題は「リエイブルメントプログラムへの参加が高齢者の社会参加に与える影響：質的研究」です。
これは、渋谷区介護保険課と当院が長年取り組んできた自立支援プログラムを質的に検証したもので、実際に高齢者へのインタビューを分析した主観的エビデンスに基づく点が高く評価されました。
今回の受賞は、病院・行政・大学院の先生方のご指導や、多くの方々の支えがあってこそ実現できました。深く感謝申し上げます。
今後は、この成果をさらに広げるため、英語論文化に向けて研鑽を重ね、当院の取り組みがより多くの方に届くよう努めてまいります。

作業療法士　山本